

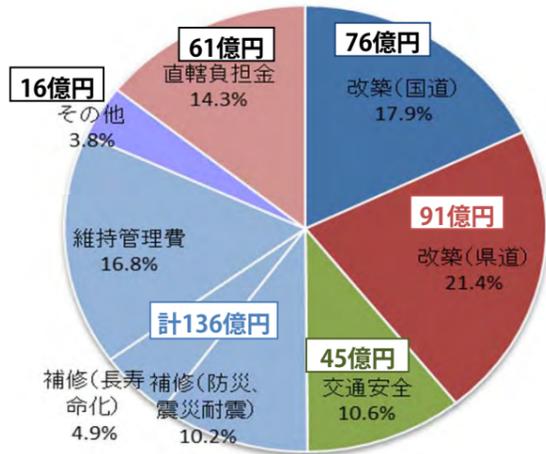
道路関係の予算状況について

平成27年度道路予算は、全体で約425億円です。このうち、改築事業が約4割、維持補修費が3割強を占めています。予算額の推移を見ると、近年横ばいとなっていますが平成10年度以降は一貫して減少傾向にあります。今後は社会資本の老朽化に伴い維持管理費や更新費の増大が想定されるため、効率的な道路整備が求められています。

(単位：百万円)

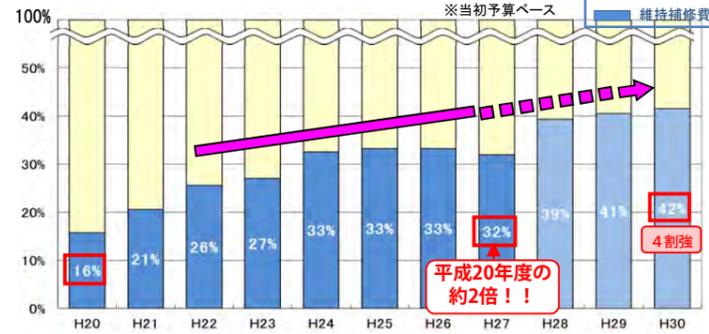
区分/事業名	平成26年度当初	平成27年度当初	(対前年度比)	備考
補助	2,241	2,881	(1.29)	防衛予算含む
交付金(社会資本・防災安全)	20,417	19,353	(0.95)	
県単独費	13,311	14,219	(1.07)	
うち維持補修費	5,737	5,737	(1.00)	
直轄負担金	6,077	6,077	(1.00)	
計	42,045	42,530	(1.01)	

平成27年度予算の内訳



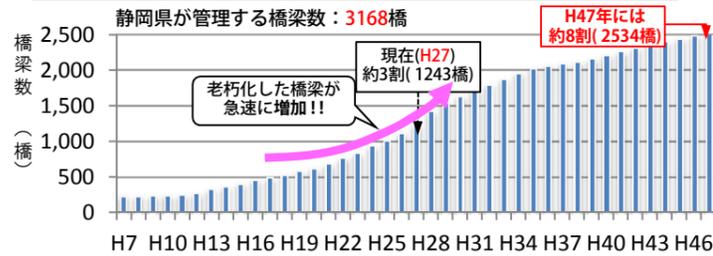
交通安全：歩道整備、交差点改良等
 その他：防衛予算、地震・津波対策促進費交付金等

道路予算に占める維持補修費の割合の推移



これまでのように道路予算の低調が続いた場合、平成28年度以降の維持補修費の割合はさらに増加します。

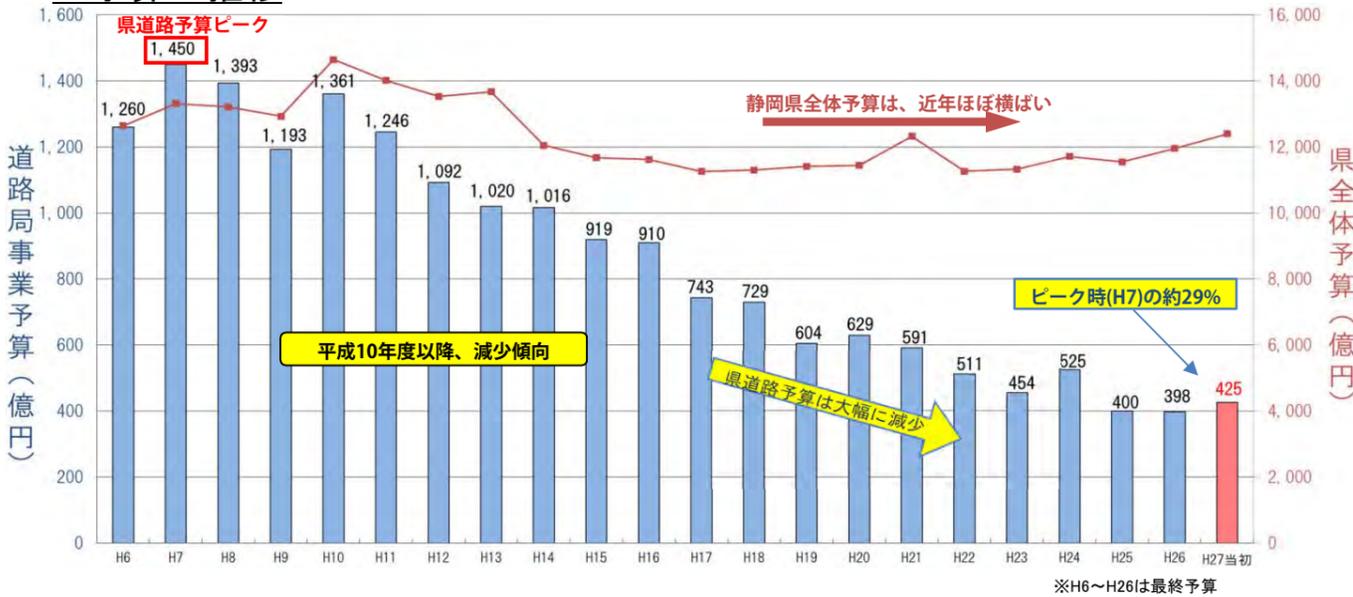
建設後50年以上経過した橋梁の推移(累積)



現在(H27)約3割(1243橋)
 老朽化した橋梁が急速に増加!!

H47年には約8割(2534橋)

予算の推移



県道路予算ピーク 1,450

静岡県全体予算は、近年ほぼ横ばい

平成10年度以降、減少傾向

県道路予算は大幅に減少

ピーク時(H7)の約29%

※H6~H26は最終予算

平成27年度 静岡県の道路事業概要



いっしょに、未来の地域づくり
 New Public Engineering for SHIZUOKA

平成27年4月
 静岡県交通基盤部道路局



編集・発行
 静岡県交通基盤部道路局道路企画課
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 電話:054-221-3014 FAX:054-221-3337

平成27年度 静岡県の道路事業概要

基本理念と3つの基本目標

東海道新時代を拓くふじのくにの“みちづくり”

命と暮らしを守る

地域の自立の実現

豊かさの実現

命と暮らしを守る ～県民一人ひとりの命と暮らしを守る ふじのくにの“みちづくり”～

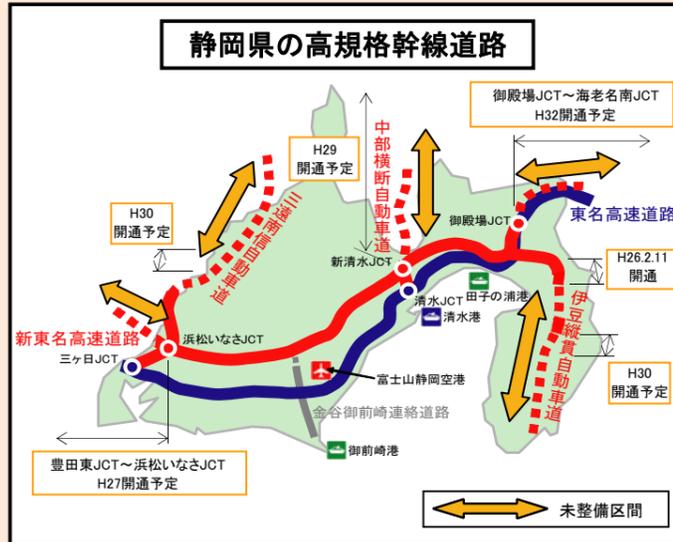
●高規格幹線道路の整備（未整備区間の解消）

災害時に円滑かつ迅速な応急活動を支援し、救急医療環境の改善に大きく寄与する、まさに「命の道」となる高規格幹線道路の整備を促進します。

- 中部横断：新清水JCT～増穂IC **H29 開通予定**
- 三遠南信：佐久間IC～東栄IC **H30 開通予定**
- 伊豆縦貫：大平IC～天城湯ヶ島IC **H30 開通予定**
- 新東名：御殿場JCT～海老名南JCT **H32 開通予定**



伊豆縦貫自動車道<天城北道路> 中部横断自動車道<興津川橋>



●地震に備えた橋梁の耐震対策

地震の発生に備え、緊急輸送路にある橋梁の耐震対策を実施します。



●道路法面等の防災対策

大雨等の異常気象時に、地域が孤立することがないように、事前通行規制区間における道路法面等の防災対策を優先的に実施します。



TOPICS 静岡県メンテナンス会議

道路管理者が連絡調整を行い円滑な道路管理を促進します。

体制

- 国土交通省中部地方整備局(直轄事務所)
- 静岡県、政令市、33市町、県道路公社
- 中日本高速道路(株)

H26決定事項

5か年点検計画

- 全道路施設の点検計画を策定(対象施設：道路橋、トンネル、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識)
- H26から近接目視点検に着手

地域一括発注

- 市町村の点検・診断の発注事務を都道府県が受託するもの
- H27は県内5市町の点検業務を3土木事務所一括発注予定

点検研修

- 定期点検の知識や技能を習得するための研修(H26は2回実施)
- 点検現場での実習(年7回)

●道路施設の長寿命化

県では、平成20年度に「静岡県橋梁中長期管理計画」を策定し、管理コストの低減と予算の平準化を図るとともに、橋梁の長寿命化と計画的な維持管理を行うアセットマネジメントに取り組んでいます。また、管理上重要な橋梁、トンネルのうち劣化の著しいものについては、平成22年度から28年度にかけて緊急対策を実施しています。



地域の自立と実現

～快適にヒトやモノが行き交い、地域の自立を進めるふじのくにの“みちづくり”～

●高規格幹線道路のアクセス道路等の整備

道路ネットワーク拡充のため、地域高規格道路やアクセス道路等を整備します。



TOPICS 金谷御前崎道路の整備効果



●主要な渋滞箇所における渋滞対策

交通の円滑化を目指して、バイパスの整備や長大橋の整備などの渋滞対策を実施します。はばたき橋においては、その供用で他橋の交通量が2割近く減少。渋滞の解消に大きな効果が見られました。



●中山間地と市街地の連携強化

中山間地と市街地を結ぶ道路において、狭隘箇所の拡幅やバイパス整備、すれ違い困難箇所における待避所設置などを実施し、交流を活性化させることにより、連携の強化を図ります。



豊かさの実現

～暮らしの質を向上させるふじのくにの“みちづくり”～

●道路施設の色彩選定、道路案内標識等の整備

静岡県の公共事業における景観配慮については「ふじのくに色彩・デザイン指針(社会資本整備)」として基本方針が規定されています。その中で大規模な構造物については静岡県景観懇話会による景観検討を実施することとなっています。



●世界遺産富士山のマイカー規制

富士山の各登山口の五合目駐車場での大規模な渋滞が多発したために、例年7月～9月にかけてマイカー規制を実施しています。利用者は乗換駐車場でシャトルバスやタクシーに乗り換えて五合目に移動することとなります。

